

神南地区 地域まちづくり計画



自然豊かで いきいき暮らせる

笑顔あふれる まちづくり

令和6年2月 神南地区まちづくり協議会

目 次

第1章 はじめに

- 1 計画策定の趣旨 1
- 2 計画期間と位置づけ 1

第2章 神南地区は、こんな地域

- 1 地区の概要 2
- 2 人口などの動態 3

第3章 こんな地域にしていこう

- 1 神南地区の目指すべき将来像とまちづくりの基本方針 5
- 2 基本方針に基づく課題解決のための活動例 6
- 3 推進体制 10

むすびに 11

【資料編】 資-1 ~ 資-6

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨

日本の総人口は、平成21年をピークに14年連続で減少していて、その減少幅は拡大しています。(R5.1.1現在)

香取市においては、全国より早く減少傾向となり、令和4年度香取市独自推計によると今後も減少を続け、令和12年には63,616人となることが予想されています。

また、高齢化率は37.5% (R4.4.1現在) で、全国の29.0% (R4.10.1現在)、千葉県の27.5% (R4.4.1現在) より高く、同推計では令和12年に44.7%となることが予想されています。

さらに、合計特殊出生率は0.97で、全国の1.30、千葉県の1.21と比べ著しく低く、その要因の1つとしての未婚化、晩婚化の状況が全国的な傾向より高く、少子化がより速いペースで進行していく可能性を示唆しています。

また、各地に大きな被害をもたらす地震や豪雨などの災害や新たな感染症の蔓延など想定外の事態を乗り越えるためには、人と人とのつながりが大切であり、みんなが声を掛け合い、力を寄せ合い、人を気遣いながらみんなで助け合う“地域の絆”をつくりあげることが必要不可欠です。

神南地区 地域まちづくり計画は、こうした地域が抱える課題を子どもから高齢者までの地域に関わるすべての人が自分事として捉え、「神南地区に住んでよかった」と思えるようなまちづくりを進めるために、神南地区の将来像を共有し、地域一丸となって取り組むまちづくり活動の方針を定めるもので、基本となるものです。

2 計画期間と位置づけ

この計画は、概ね10年間の活動像を描くものですが、社会情勢の変化に応じ随時見直しを行っていくものとします。

計画に基づく施策(活動)等の実践については、活動体制など取り組むことのできる環境が整ってきたものから順次取り組み、徐々に活動の多様化を図っていくこととします。

また、協議会の活動は、小さな成功体験を積み上げ “楽しみながらやろう” をモットーに、役員やご協力いただく住民の皆さんに過度な負担とならないよう心がけることとし、持続していくことを目指します。

第2章 神南地区は、こんな地域

1 地区の概要

沿 革

神南地区は、香取神宮の南部に位置することから、令和2年3月に閉校した旧神南小学校の「神南」を、地域の皆様から永く親しんでもらおうと、その名称を引き継ぎました。

歴史を明治時代まで遡ると神南地区は、廃藩置県後明治22年の町村施行により誕生した旧香取村に始まり、その後昭和26年には佐原町と合併し佐原市へ、平成18年の合併では香取市となり現在に至っています。

神南地区まちづくり協議会は、下小野区、返田区、九美上区の3区によって構成されています。

地 勢

神南地区は、香取市のほぼ中央に位置し、東には小見川地区、西には福田地区、北には香取地区、南には栗源地区とそれぞれ隣接し、地形的には、一部水田地帯があるものの台地と畑が広がる、緑豊かな自然が息づく地域です。

また、主な農産物としては、さつま芋や人参を始めとする野菜類のほか、梨などの果実も栽培されています。

交 通

地区の中央を南北に県道佐原八日市場線、県道佐原椿海線が走っており、また、それぞれ県道佐原八日市場線にはJRバスの佐原多古線、県道佐原椿海線には千葉交通バスの佐原山倉線が運行されているものの、行先や運行間隔など地域公共交通の利便性が良好と言える状況にはありません。

歴史・文化

神南地区の各地区には、下小野区には八幡神社、稻荷神社、宝蔵院、妙香寺、返田区には返田神社、九美上区には大鳥神社など、由緒ある神社仏閣を有しています。

また、旧神南小学校のせんだんの木とアオバズクは、毎年アオバズクが飛来することから新聞に取り上げられ有名になったもので、閉校記念碑として残されているアオバズクベンチとともに、思い出の一つとなっています。

梅檀は双葉より芳し「せんだんはふたばよりかんばし」と、数多くの優秀な神南っ子が育っていったことと思います。

2 人口などの動態

香取市、佐原（旧佐原市）地区、神南地区の平成25年、30年、令和5年の各年の4月1日の住民基本台帳人口と世帯数の推移は次表のとおりです。

神南地区の人口は、この10年間で、321人、18.2%の減となっていて、香取市や佐原（旧佐原市）地区と比べ人口減少が進行しています。

また、神南地区の世帯数は、この10年間で、ほぼ横ばいとなっていることから、高齢者の単身世帯が増加するなど、世帯人員が減少しています。

人口 (単位：人)

地区名	平成25年	平成30年	比較	令和5年	比較
下小野	765	701	91.6	621	81.2
返田	398	339	85.2	315	79.1
九美上1	132	125	94.7	125	94.7
九美上2	188	168	89.4	151	80.3
九美上3	278	261	93.9	228	82.0
神南地区	1,761	1,594	90.5	1,440	81.8
佐原地区	43,788	40,905	93.4	37,510	85.7
香取市	82,838	77,536	93.6	71,332	86.1

※比較は平成25年を100とした指数

世帯数 (単位：世帯)

地区名	平成25年	平成30年	比較	令和5年	比較
下小野	253	256	101.2	258	102.0
返田	152	141	92.8	143	94.1
九美上1	47	52	110.6	59	125.5
九美上2	68	66	97.1	64	94.1
九美上3	95	98	103.2	96	101.1
神南地区	615	613	99.7	620	100.8
佐原地区	16,753	16,670	99.5	16,417	98.0
香取市	30,099	30,897	102.7	31,178	103.6

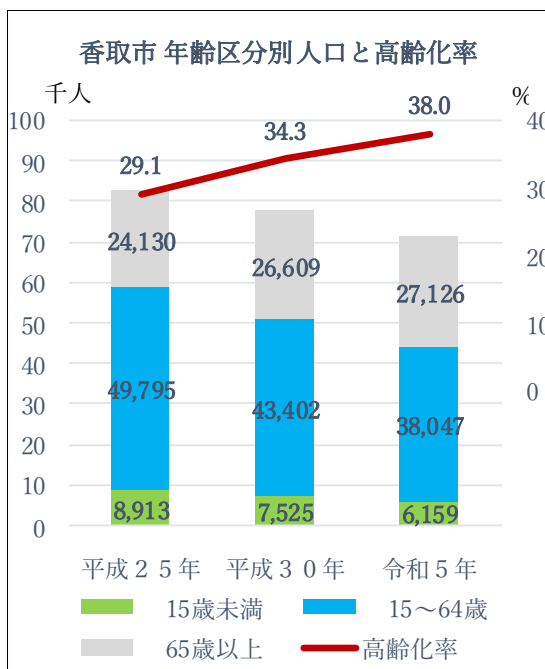
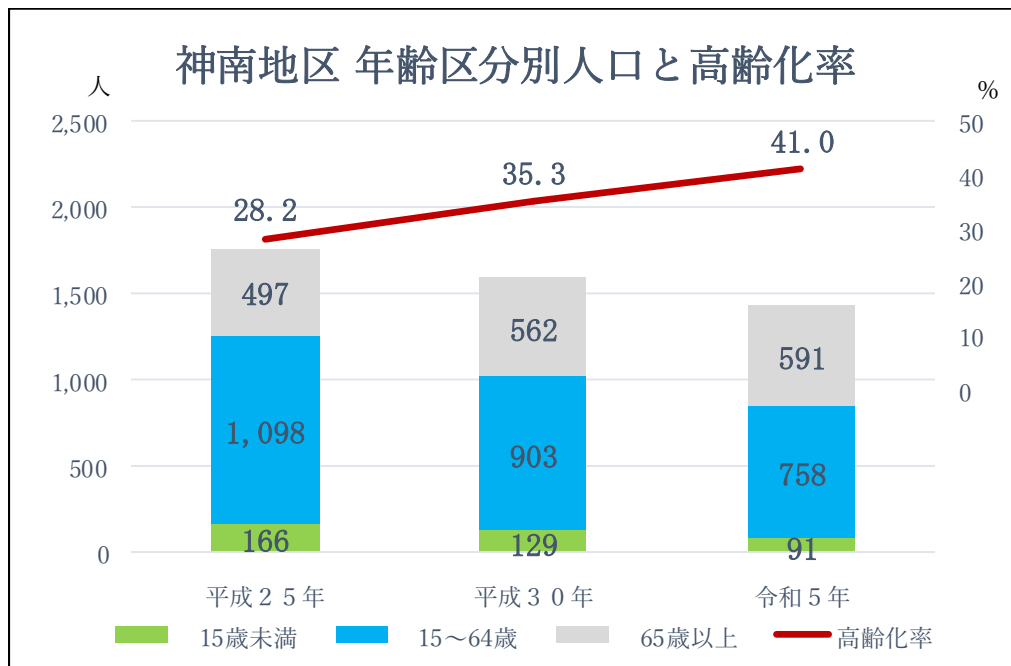
※比較は平成25年を100とした指数

同様に、香取市、佐原（旧佐原市）地区、神南地区の年齢区分別人口と高齢化率の推移は次表のとおりです。

神南地区の高齢化率は41.0%となっていて、この10年間で、12.8ポイント増加しています。

また、15歳未満の人口が、この10年間で、ほぼ半減の45.2%減少しています。

神南地区は、香取市や佐原（旧佐原市）地区に比べ少子高齢化の傾向が進行しています。



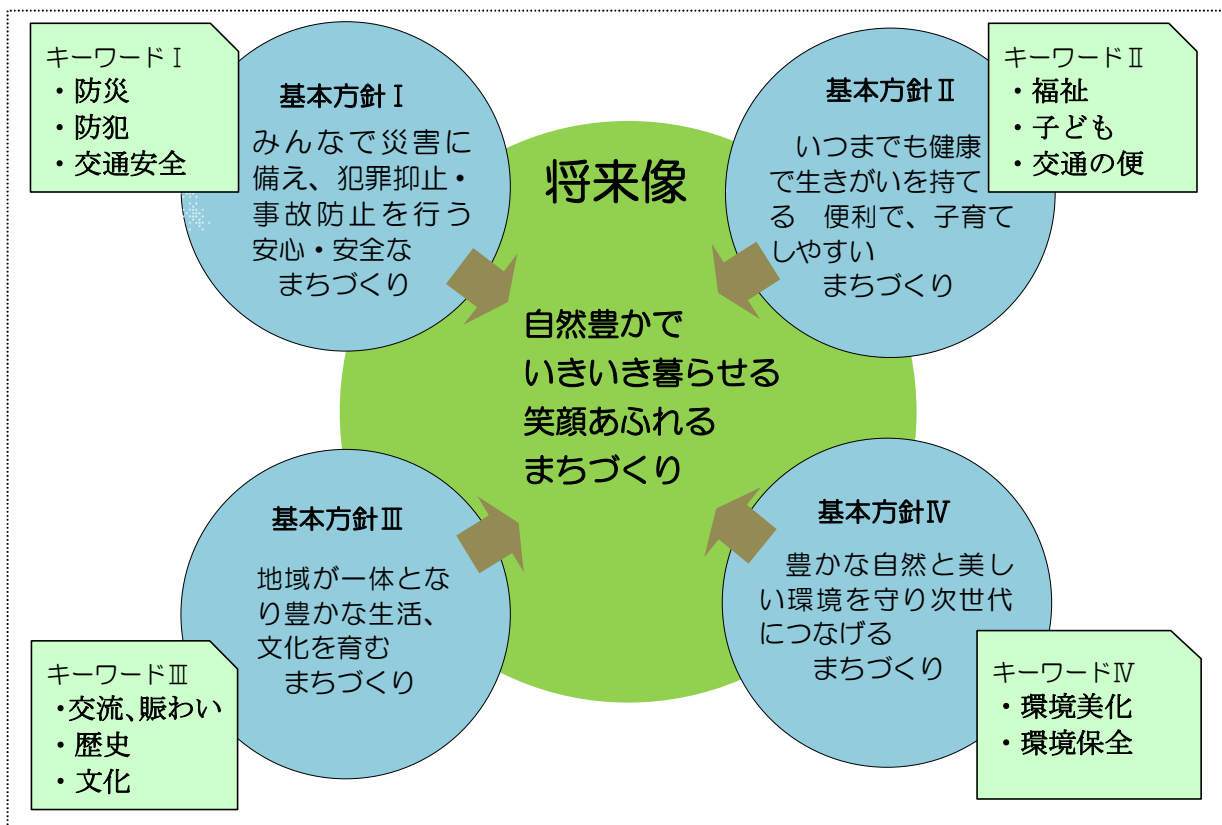
第3章 こんな地域にしていこう

1 神南地区の目指すべき将来像とまちづくりの基本方針

■将来像（まちづくりの全体テーマ）

将来像は、神南地区が将来に向けて目指すべき「まちの姿」を示すものです。神南地区の目指す将来像とそれを実現するための基本方針を下図のとおり掲げます。

将来像と4つの基本方針



■まちづくりの基本方針とは

将来像の実現のためには、まちづくりを構成する分野別の方向性を明確にする必要があります。本計画では神南地区の現況や住民アンケート調査及び座談会での意見等をもとに、地区の課題から導かれた4つの分野別の基本方針を掲げます。

次節においては、分野別の課題と基本方針に基づく具体的な活動例を示します。

2 基本方針に基づく課題解決のための活動例

キーワードⅠ 防災対策、防犯対策、交通安全の推進

課題

- 神南地区は比較的地盤の安定した台地ですが、大地震や全国各地で頻発する風水害などの自然災害に対する住民の不安を解消していく必要があります。
- 子どもや高齢者などが犠牲となる犯罪や交通事故が全国的に発生していることから、地域で子どもや高齢者を犯罪や事故からどう守っていくか検討する必要があります。

まちづくりの基本方針 Ⅰ

“みんなで災害に備え、犯罪抑止・事故防止を行う 安心・安全なまちづくり”

- 一人ひとりが災害への備えを行い、地域住民の連携と協調が図れる災害に強い地域づくりを展開する。
- 一人ひとりの防犯意識及び交通安全意識を高め、誰もが安全に暮らせる、犯罪や交通事故のない環境づくりを行います。

基本方針Ⅰに基づく活動例

活 動 例	<ul style="list-style-type: none">■早期にできるもの<ul style="list-style-type: none">・住民の防災意識啓発、防災資機材の備蓄・防犯パトロールの実施・防犯灯の増設、防犯カメラの設置・防犯や交通安全指導（教室）の開催 など■時間を要すもの<ul style="list-style-type: none">・消防団の維持、消防団活動の見直し など
-------------	---

キーワードⅡ 少子高齢化、人口減少への対応（福祉、子育て、交通）

課題

- 高齢者の一人暮らしや高齢者夫婦世帯の増加も目立ち、健康維持や生活支援などの福祉面において、不安を解消していく必要があります。
- 車が利用できない高齢者の日常的な通院・買い物などの交通の不便さが感じられます。
- 少子化や保護者の就労環境及び地域社会の様態の変化により、幼児教育など、安心して子育てができる環境づくりが求められています。

まちづくりの基本方針 Ⅱ

“いつまでも健康で生きがいを持てる 便利で、子育てしやすい まちづくり”

- 住民誰もが健康で、生きがいや充実感を持って暮らせるように、地域ぐるみで高齢者福祉と健康づくりを推進します。
- 地域で子どもたちを育み、安心して子育てができる環境をつくります。
- 通院や買い物時などの交通手段の確保を検討します。

基本方針Ⅱに基づく活動例

活 動 例	<ul style="list-style-type: none">■早期にできるもの<ul style="list-style-type: none">・高齢者の見守り活動・落語や大衆演劇などのレクリエーションの開催・体操やグラウンドゴルフなどの健康増進活動・子ども向けイベントなど子育て支援・宅配サービス、移動スーパーの誘致などの買い物支援・バスや乗合タクシーなど公共交通の利用促進 など■時間を要すもの<ul style="list-style-type: none">・ハイキングコースの整備・ボランティア運送サービスなどの検討 など
-------------	--

**キーワードⅢ 住民交流の促進、地域コミュニティの活性化、
歴史・文化の継承**

課題

- 生活様式の多様化やコロナ禍の影響も受け、地区全体で集まる機会が減少し、とりわけ若い世代の地域行事や地域活動への参加が少なく、地域に対する関心や愛着、世代間の交流が薄れていくことが懸念されます。
- 人口が減少し続けていることから、自治会や消防団などの地域活動に支障をきたしつつあります。
- 地区の豊かな歴史と文化を次の世代に引き継いでいくためには、世代間交流を通して、ふるさとの歴史・文化、伝統行事を学び、ふるさに誇りが持てるようにする必要があります。

まちづくりの基本方針 Ⅲ

“地域が一体となり 豊かな生活、文化を育む まちづくり”

- 住民同士の交流の機会を提供し、住民相互の交流と相互理解を深めるとともに、地域の歴史・文化を学ぶことで、ふるさに誇りを持てる地域づくりを行います。

基本方針Ⅲに基づく活動例

活 動 例	<ul style="list-style-type: none">■早期にできるもの<ul style="list-style-type: none">・朝市や除夜の鐘撞<small>かねつき</small>、ドッグランなどイベントの開催・多世代を対象とした各種学習教室の開催・地区の歴史や文化、農業体験など子どもへの伝承と交流・神楽の活動支援 など■時間を要すもの<ul style="list-style-type: none">・農業や畜産体験会など地区外の人との交流 など
----------------------	---

キーワードⅣ 環境美化・保全活動の実施

課題

- ごみのポイ捨てや分別の不徹底など、緑豊かな自然景観が阻害されることが懸念されます。
- 耕作放棄地や山林の荒廃などが見られるため、水辺や田園景観、里山の自然環境を保全していく必要があります。

まちづくりの基本方針Ⅳ

“豊かな自然と美しい環境を守り 次世代につなげる まちづくり”

- 地区全体の清掃や美化活動の推進を行うとともに、耕作放棄地や休耕地の整備、活用を検討し、里山や田園景観などの豊かな自然環境の保全・活用を図ります。
- 豊かな自然環境を次の世代に残し、より一層の緑あふれる神南地区を目指す。

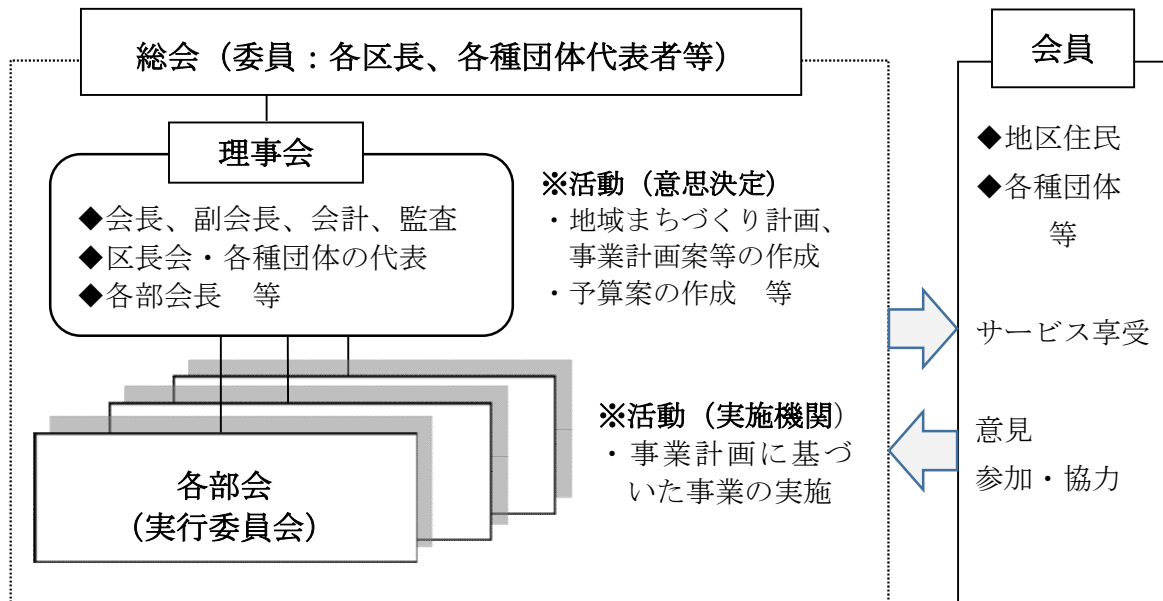
基本方針Ⅳに基づく活動例

活 動 例	<ul style="list-style-type: none">■早期にできるもの<ul style="list-style-type: none">・地域全体での清掃、美化活動・道路の草刈りや側溝の清掃・ごみの不法投棄防止対策 など■時間を要するもの<ul style="list-style-type: none">・耕作放棄地や休耕地の整備、活用 など
-------------	--

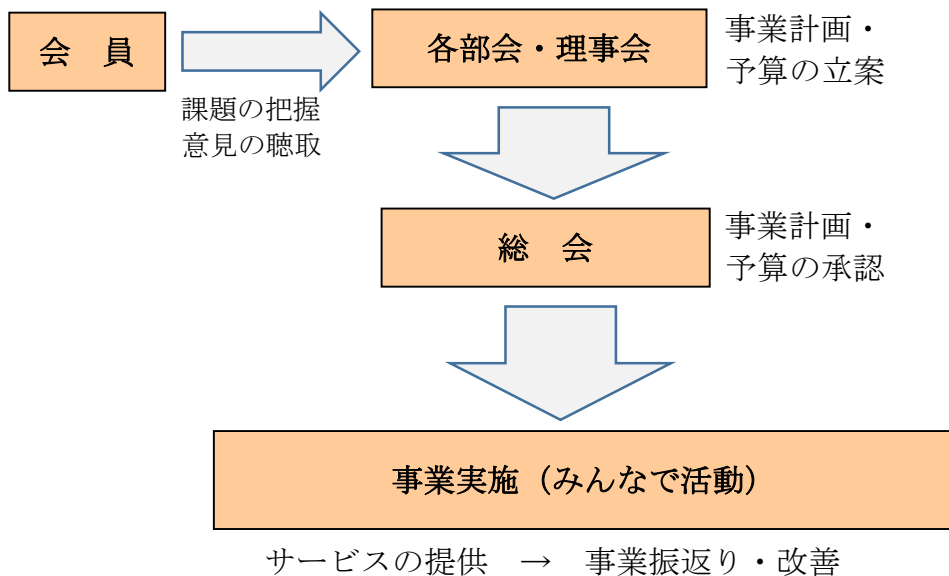
3 推進体制

神南地区まちづくり協議会は、地域の課題解決のために本協議会を地区内の住民や各種団体が話し合い、調整、実践していく場として位置づけ、住民や各種団体等が互いの持ち味を活かしながら、横につながり合い、将来像や活動目標の実現に向けて、協働で計画を推進していきます。

■まちづくり協議会の組織構成図（イメージ）



■地域まちづくり計画実践の流れ（イメージ）



むすびに

平成18年3月の市町村合併により、香取市の行政区域は拡大しましたが、各地区においては、自治会や各種団体が主体となり、まちづくりに取り組んできた地域性があります。



まちづくり協議会は、それらの地域性を尊重し、住民の皆さんが自発的に地域の課題に取り組むことができる仕組みです。

住民アンケートでの回答の中には、交通の便が良くない、一人暮らしの高齢者などの生活が心配、子どもたちの遊び場が少ない、ごみのポイ捨てが目立つ地域を維持していけるのか心配だ、など、住民の方々から地域の課題について多くの意見をいただきました。

これらの地域課題を神南地区一体となって考え、自分事としてみんなで行動し、行政と役割分担しながら連携・協力して解決したり、地域の明るい将来を実現させたりするのが「まちづくり協議会」の役割です。

『神南地区まちづくり協議会』は、神南小学校が廃校となってしまった今、神南の名を後世に残すためにも、本計画書に基づき、本地区の目指す将来像の実現に向けて、住民同士の絆を深め、皆さんの知恵と力をお借りしながら、今後の活動を進めて参りたいと思いますので、住民の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

神南地区まちづくり協議会
会長 伊藤 昭夫

資 料 編

1 地域まちづくり計画策定経過	資-1
2 アンケート調査及び座談会実施結果	
I アンケート調査	資-2
II 座談会	資-3

1 神南地区まちづくり協議会 地域まちづくり計画策定経過

期 日	会 議 等	内 容 等
令和元年 6月22日	設立総会	・「神南地区まちづくり協議会設立趣意書」、 その他手続きの決定により、協議会が設立
8月24日	理事会	・地域まちづくり計画策定方針及び体制について
10月	協議会だより（創刊号）の発行	・協議会設立及びアンケート実施のお知らせ
11月～ 12月	アンケート調査	資料編 2のとおり
※令和2年度～4年度 コロナ禍の影響により活動休止		
令和5年 7月8日	第1回理事会 （計画策定委員会）	・アンケートの調査結果について ・地域まちづくり計画策定方針について（再確認）
8月6日	第1回座談会	資料編 2のとおり
9月16日	第2回座談会	資料編 2のとおり
10月28日	第2回理事会 （計画策定委員会）	・座談会の開催結果について ・地域まちづくり計画骨子（案）について
12月 2日	第3回理事会 （計画策定委員会）	・地域まちづくり計画（案）について ・臨時総会について
令和6年 2月16日	定期総会	・地域まちづくり計画の決定

2 アンケート調査結果／座談会開催結果

○目的と意義

地域まちづくり計画を策定するにあたり、住民の意見を取り入れ、地域の課題や目指すべき将来像、地域自らが取り組むべき具体的活動内容等を明らかにし、共通理解を得ることを目的に、住民を対象としたアンケート調査による意見徴収及びその結果を踏まえ協議会委員を対象とした座談会において深掘りし意見交換を行った。

また、座談会を契機に、改めて今後の協議会活動への理解・協力が進展することを希求するものである。

I アンケート調査

- (1) 期間 令和元年 11 月～12 月
- (2) 実施方法
自治会に配布、回収を依頼
- (3) 回収率等
配布数 932 回収数 554 回収率 59.4%
- (4) 回答者の状況
男女比 ほぼ同数
年齢層 50 歳代以上が約 70%
- (5) 神南地区は住みやすいか、これからも住み続けたいか
住みやすいと思う 46.7% 思わない 24.1%
ずっと住んでいたい 42.6% 移住したい 7.9%
- (6) 地区における満足度と重要度
満足度が低く、重要度が高いもの、ベスト 5
①交通の便 ②医療機関にかかりやすい
③買い物の便 ④高齢者が安心して生活できる
⑤安心して子育てができる
- (7) まちづくり協議会で取り組みたい、取り組むべき活動、ベスト 5
①通院や買い物時の交通手段の確保
②高齢者の生きがい、健康づくり
③子どもの安心・安全確保
④防災対策
⑤健康維持や介護予防
- (6) これからのまちづくりへの参加意向
「積極的に参加、協力する」から「可能な範囲であれば」までを合わせると、
約 9 割

(7) その他の意見やアイデア（注目事項など抜粋）

- 様々な活動に男女区別なく参加できる風潮があれば良い
- いろいろな活動に女性も自由に参加できるような地域になればいい
- 役員の公平な負担を望む。特定の人への過重負担は避けるべき
- 旧神南小学校が利用されないことによって荒れてゆくのは残念
- 気軽に出来るボランティアがあれば参加したい
- 男の独り者にいかにして嫁さんを与えるか

II 座談会

(1) 開催概要

○第1回

日 時 8月6日 午後6時
場 所 下小野第四公会堂
参加人数 14人
座 長 伊藤 昭夫
班 編 成 3班
参加対象 協議会役員・
区長・民生委員等



○第2回

日 時 9月16日 午後6時
場 所 香取市役所 501~503 会議室
参加人数 19人



座 長 海老澤 文雄
班 編 成 4班
参加対象 協議会役員・
各種団体代表等

(2) テーマと意見等

テーマ 1	<p>神南地区とは *住んでいると中々出てこない「良いところ」を挙げよう</p>
意見等	<p>○人情</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助け合いの地域 ・人間関係に人情がある ・朝など子供たちからあいさつしてくれる ・班などの活動があり、横のつながりができる <p>○自然・環境・農業（産業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで、のどか、静か ・家の土地が広い ・小野川の源流 ・湧水があり、水がおいしい ・中央公会堂の桜がきれい ・夜空（星空）がきれい ・野鳥、アオバズクが住む ・道路が平坦、平坦な地域で災害に強い ・ナシ、イモ、野菜、米が美味しい ・サツマイモなど農業がやりやすく農業、畜産が盛ん <p>○歴史・文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貝塚がある ・返田神社の祭り、節分、元旦祭や下小野、返田神楽がある ・土器が出てくる ・江戸時代の開拓ナンバー「九美上」 <p>○安全・交通の便</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が安全にバス通学できる ・路線バスが佐原方面、小見川方面の2路線通っている

テーマ 2	<p>協議会で取り組むべきこと（早：早期に取り組みができるもの 要：取り組みまでに時間がかかるもの） *地域の現状、アンケート結果を踏まえ、今後取り組むべき具体的な事業の提案など</p>
意見等	<p>①交通の便、買い物の便</p> <ul style="list-style-type: none"> （早）・スーパーや移動スーパーの誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物宅配サービス （要）・乗合タクシーやバスの確保、制度づくり <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー券の配布 ・移動スーパーで使えるクーポンの作成

	<p>②高齢者の安心・生きがい／健康づくり</p> <p>(早)・高齢者の見回り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語・大衆演劇などレクリエーションの開催 ・ラジオ体操やグラウンドゴルフの開催 ・老人クラブの活性化や交流 ・公民館に高齢者が集まるサロンをつくる <p>(要)・ハイキングコースの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化、学習などの教室の企画、開催 <p>③教育・子育て環境／歴史・文化の伝承</p> <p>(早)・小学校に高齢者を招き交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みなどに子供向けイベント ・地区の歴史文化や農業体験など良いところを小学生に教える ・神楽の活動費などの支援やイベント参加 ・クラブ活動の指導者の育成と指導 <p>(要)・旧神南小近くの山に土器が埋まっているので、見つけるイベントなどの開催</p> <p>④防犯・防災・交通安全</p> <p>(早)・青パトを使った防犯パトロール等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全啓発 ・交通安全指導 ・防犯灯の増設、防犯カメラの設置 ・集会所に防災グッズを備蓄する <p>(要)・停電時のために、雨水を貯留しトイレに使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団活動の見直しと維持 <p>⑤生活環境・自然環境の保全</p> <p>(早)・地域全体ごみゼロ運動の実施など清掃、美化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の草刈りや側溝の清掃 ・道路脇への花植え ・井戸水の検査 ・ゴミの不法投棄防止対策 ・三角公園のトイレ水洗化 <p>(要)・耕作放棄地や休耕地の整備、活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センダンの木の保全 <p>⑥その他（交流・コミュニティ・賑わいなど）</p> <p>(早)・朝市の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへ方言の伝承 ・除夜の鐘つき ・ドッグランの開催 ・旧神南小を活用した祭、イベントの開催
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・各世代を対象とした勉強会（年金・相続・子育て育児・受験など）の開催 ・スマートフォンを利用した交流会の開催 ・自然や活動等の SNS 等を活用した周知、PR （要）・インフルエンサー体験イベントの開催 ・農業や畜産の体験会を開催
--	---

テーマ3	役員・委員の負担軽減のために ＊円滑な役員の交代、「担い手」を見つけるためには
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の任期（留任限度）を決める ・地区ごとに人数を割り振る ・役員手当や昼食を出すことなどの検討 ・家族の協力を得るなど女性の参加環境向上 ・若者、女性が参加できるイベントの開催 ・婦人会をつくる ・リモートや資料配布による参加もできるようにする